化学物質安全データシート

製造者情報　　会　社　名　　菱興プラスチック株式会社
住　　所　　岐阜県養老郡養老町直江６４０－１
担当部門　　技術部
電話番号　　(0584)32-3000　：　ＦＡＸ(0584)34-0547
緊急連絡先　　同　上
電話番号　　同　上

作成・改定　平成２１年１２月１１日

製品名（化学名･商品名等　）

ＤＲセメントＲＮ

組成及び成分情報　単位物質・混合物の区別　：　混合物
化　学　名　：　ニトリルゴム系接着剤
成分および含有量　：

成分名	含有量（%）	CAS　NO.
メチルエチルケトン	45～55	78-93-3
アセトン	5～15	67-64-1
メチルシクロヘキサン	5～15	108-87-2

危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響　：引火性

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性　：引火性液体　区分２

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分 5
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
急性毒性（吸入：粉塵・ミスト）	分類対象外
皮膚腐食性／刺激性	区分２
眼に対する重篤な損傷／目刺激性	区分 2B
呼吸器感作性	分類対象外
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	分類対象外
生殖毒性	区分 1A
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分１．区分２．区分３
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分１

吸引性呼吸器有害性　　分類対象外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性　　区分 2

水生環境急性有害性　　区分外

ラベル要素

絵表示

注意喚起語　　：危険

危険有害性情報　　引火性の高い液体および蒸気

吸入すると有害

皮膚刺激

目への刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害（中枢神経）

呼吸器への刺激のおそれ、眠気およびめまいのおそれ

長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害（肝臓、腎臓、中枢神経系、末梢神経系）

水生生物に毒性

注意書き　　［安全対策］

取扱い作業に際しては、ＭＳＤＳ取扱説明書などで注意事項の確認をする事。

容器を密閉しておくこと。

火花、裸火、高温体などの着火源から遠ざけること。禁煙。

防爆型の電気器具／換気装置／照明機器をしようすること。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気などを吸引しないこと。

保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。

屋外または換気の良い場所で使用すること。

取扱後は手を良く洗うこと。

環境への放出を避けること。

［救急処置］

火災の場合：粉末消化剤、耐アルコール性泡消火器、二酸化炭素または水を用いて消化すること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。むりに吐かせないこと。

目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は外すこと。直ちに医師に連絡をすること。

皮膚等に付着した場合：皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当を受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断・手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断・手当を受けること。
漏出物を回収すること。
［保管］
涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。
［廃棄］
内容物や容器を、地方自治体の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

応急処置

吸入した場合　：患者を直ちに空気の新鮮な場所へ移動して寝かせる。頭痛等の異常がある場合速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場：汚染された衣類、靴等は速やかに脱ぎ捨てる。触れた部位は多量の水と石鹸で洗い流す。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た場合は、速やかに医師の診断を受ける。

目に入った場合　：流水で最低　15 分間洗眼した後、眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合　：水で口の中をよく洗い直ちに医師の診断を受ける。揮発性なので吐き出させるとかえって危険性が増す。

火災時の措置

消火剤　：　粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂

特定の消火方法　：　付近の着火源を絶ち、保護具を着用して風上から消火する。

消火を行なう者の保護：　保護衣、状況によっては不浸透性手袋、呼吸保護具、保護眼鏡等

漏出時の措置

人体に対する注意事項　：　漏出物は直接皮膚に触れないようにする。また、漏出物の蒸気は吸わない。必ず保護具を着用すること。

環境に対する注意事項　：　現在のところ知見無し。

除去方法　：　風下の人を退避させる。漏出した場所の周囲にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。消火用器材を準備する。作業の際には、必ず保護具を着用し風上から行なう。少量の場合は、おがくず、ウエス、砂等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。多量の場合は、土砂、土のうなどで流出を防止した上で、空容器に回収する。回収には、火花を発生しない安全シャベルなどを使用すること。廃棄物などは関係法規に基づいて処理すること。流出その他事故が発生した場合は、警察署、消防署等の関連機関に連絡する。

取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　　：　火気厳禁。
炎、火花、高温体との接近、その他点火源となる恐れのある機械等の使用厳禁。また、静電気対策として、液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置は必ずアースを取ること。
取扱いは換気の良い場所で行い、状況によっては保護眼鏡、保護マスクを使用する。容器はその都度密栓すること。

注意事項　　：　局所排気装置等、排気の為の装置を設置する。

安全取扱い注意事項：　消防法の危険物第一類（酸化性固体）及び危険物第六類（酸化性液体）とは、混合接触させてはならない。

保管

適切な保管条件　　：　直射日光を避け、容器を密閉し５℃～３５℃で保管する。
着火源、高温物を近づけない。

安全な容器包装材料：　弊社より出荷した包装容器を使用すること。

その他、電気機器は防爆構造にする他、消防法、労働安全衛生法等の法令の定めるところに従う。

暴露防止及び保護措置

設備対策　　：局所排気装置等、排気の為の装置を設置し、蒸気が滞留しないようにする。
取扱い場所で使用する電気機器は、防爆構造とし機器類はすべてアースを取る。
取扱い場所の近くに緊急用の洗眼設備及びシャワーを設ける。

化学名又は一般名	ﾒﾁﾙｼｸﾛﾍｷｻﾝ	ﾒﾁﾙｴﾁﾙｹﾄﾝ	ｱｾﾄﾝ
管理濃度	該当せず	200ppm	500ppm
許容濃度 日本産業衛生学会 （2004 年度版）	400ppm 1600mg/m ^{3}	200ppm 590mg/m ^{3}	200ppm 470mg/m ^{3}
ACGIH（TLV） （2004 年度版） TWA	400ppm 1610mg/m ^{3}	200ppm 590mg/m ^{3}	750ppm 1780mg/m ^{3}

保護具

呼吸保護具　：有機ガス用防毒マスクを着用する。
保護眼鏡　　：保護眼鏡を着用する。
保護手袋　　：ゴム製等の不浸透性保護手袋を着用する。
保護衣　　：長袖作業着を着用する。

物理及び化学的性質

物理的状態

形状　　：粘稠液

色　　：茶褐色

臭い　　：メチルエチルケトン臭

ｐＨ　　：該当せず

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点　　：　　56℃ 以上

引火点　：－ 9℃ （計算値）

発火点　：　245℃ 以上

爆発特性

爆発限界：上限：13.0％　下限：　1.1 ％

蒸気圧　：　22.7×10^3 Pa　（　20℃ ）

蒸気密度：空気より大

溶解性

溶媒に対する溶解性：水に不溶

比重　：　0.8 ～ 1.0　（　20℃ ）

安定性及び反応性

安定性　　：通常の取扱いにおいては安定。

危険有害反応可能性　：通常の取扱いにおいては安定。

避けるべき条件　　：情報無し

混触危険物質　　：データ無し

危険有害な分解生成物：窒素酸化物　（ 焼却時 ）

有害性情報

	ﾒﾁﾙｴﾁﾙｹﾄﾝ	ﾒﾁﾙｼｸﾛﾍｷｻﾝ	アセトン
急性毒性（経口）ﾗｯﾄ経口（　LD50 ）	5520 ㎎ / kg	>3200㎎ / kg	>5000㎎ / kg
急性毒性（経皮）	区分外	区分外	区分外
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外	分類対象外	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	区分 5	区分外	区分外
急性毒性（吸入：粉塵：ミスト）	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分 2	区分 3	区分外
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分 2B	区分 2B	区分 2B
呼吸器感作性	分類できない	分類できない	分類できない
又は皮膚感作性	分類できない	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	区別外	分類できない	区別外
発がん性	区分外	分類できない	区別外
生殖毒性	分類できない	区分 2	区分2
標的臓器 / 全身毒性　（ 単回暴露 ）	区分1(中枢器系　)	区分 3(気道刺激　)	区分3(気道刺激　)

区分3(抹消神経　) 区分3(麻酔作用　)

標的臓器 / 全身毒性　(反復暴露)　　区分 1(中枢器系　)　分類できない　区分　2(血管)

吸引性呼吸器有害性　　区分 2　　区分 1　　区分 2

環境影響情報

水生環境有害性　(急性)　　区分 2

水生環境有害性　(慢性)　　区別外

廃棄上の注意

残余廃棄物　　:　産業廃棄物として許可の受けた専門業者に委託する。
焼却時に有害ガスの発生を伴うので、焼却設備には排ガス処理設備が必要である。

汚染容器・包装　　:　産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。

その他、廃棄物の処理及び清掃に関する法規制の定めるところに従う。

輸送上の注意

容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行なう。火気厳禁。その他、消防法、船舶安全法等の法令の定めるところに従う。

国連分類：クラス 3 (引火性液体)

国連番号： 1133 (ADHESIVES)

指針番号： 128

適用法令

労働安全衛生法：引火性のもの・通知対象化学物質

メチルエチルケトン　政令番号５６８

アセトン　政令番号　１７

メチルシクロヘキサン　政令番号５７４

有機溶剤中毒予防規則　：第二種有機溶剤

PRTR 法　：通知対象化学物質

消防法　：危険物第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）

船舶安全法　：中引火点引火性液体

その他、地域の法規制の定めるところに従う。

その他の情報

参考資料　　：国際化学物質安全性カード（　ICSC ）
有機溶剤作業主任者テキスト
製品安全データシート作成指針（日本化学工業協会）
接着剤の製品安全データシート作成手引き（日本接着剤工業会）
溶剤ポケットブック（オーム社）
JIS　Z　7250 （日本規格協会）
原材料メーカーの製品安全データシート

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。